

2024 年度 AI チップ設計拠点(AIDC)単価表

2024年度AIチップ設計拠点(AIDC)単価表

2024年4月1日改訂

整理番号	プラン・オプション名称	カテゴリー	利用料 (円/月)	最低契約 期間 (月)	申込み 期限 (※1)	備考	約款第6条 との関係 (※2)
DC01	スタンダードプラン	スタンダードプラン	80,000	1	b	最大申請数：8口 [※2]	1
DC10	追加ストレージオプション	DC01用追加オプション	10,000	1	b	追加単位：200GB	1
DC11	追加CPUcoreオプション	DC01用追加オプション	10,000	1	a	追加単位：1core	1
DC12	追加メモリオプション	DC01用追加オプション	10,000	1	a	追加単位：16GB	1
DC13	追加ユーザオプション	DC01用追加オプション	40,000	1	b	追加単位：1人	1
DC14	追加設計環境利用時間オプション	DC01用追加オプション	40,000	1	a	追加単位：100時間/月	1
DC02	PDK/IP使用プラン	PDK/IP使用プラン	110,000	1	b	最大申請数：8口 [※2]	1
DC20	追加ストレージオプション	DC02用追加オプション	10,000	1	b	追加単位：200GB	1
DC21	追加CPUcoreオプション	DC02用追加オプション	10,000	1	a	追加単位：1core	1
DC22	追加メモリオプション	DC02用追加オプション	10,000	1	a	追加単位：16GB	1
DC23	追加ユーザオプション	DC02用追加オプション	40,000	1	b	追加単位：1人	1
DC24	追加設計環境利用時間オプション	DC02用追加オプション	40,000	1	a	追加単位：100時間/月	1
DC25	5.1GHzCPU実行サーバオプション	DC02用追加オプション	400,000	1	b	追加単位：1台	1
DC26	768GB実行サーバオプション	DC02用追加オプション	800,000	1	b	追加単位：1台	1
DC27	1500GB実行サーバオプション	DC02用追加オプション	1,600,000	1	b	追加単位：1台	1
DC03	エミュレータプラン	エミュレータプラン	80,000	1	b	最大申請数：8口 [※2]	1
DC30	追加ストレージオプション	DC03用追加オプション	10,000	1	b	追加単位：200GB	1
DC31	追加CPUcoreオプション	DC03用追加オプション	10,000	1	a	追加単位：1core	1
DC32	追加メモリオプション	DC03用追加オプション	10,000	1	a	追加単位：16GB	1
DC33	追加ユーザオプション	DC03用追加オプション	40,000	1	b	追加単位：1人	1
DC34	追加設計環境利用時間オプション	DC03用追加オプション	40,000	1	a	追加単位：100時間/月	1
DC35	追加ドメインオプション	DC03用追加オプション	80,000	1	a	追加単位：1ドメイン(エミュレータ用)	1
DC04	ベアメタルサーバプラン 5.1GHzCPU Loginサーバ	ベアメタルサーバプラン	500,000	1	b	最大申請数：28口	1
DC41	5.1GHzCPU実行サーバオプション	DC04用追加オプション	400,000	1	b	最大申請数：28口	1
DC42	768GB実行サーバオプション	DC04用追加オプション	800,000	1	b	最大申請数：20口	1
DC43	1500GB実行サーバオプション	DC04用追加オプション	1,600,000	1	b	最大申請数：10口	1
DC44	追加ストレージオプション	DC04用追加オプション	20,000	1	b	追加単位：200GB	1
DC45	追加ユーザオプション	DC04用追加オプション	40,000	1	b	追加単位：1人	1
DC46	追加設計環境利用時間オプション	DC04用追加オプション	40,000	1	a	追加単位：100時間/月	1
DC05	RTLガイドライン参照プラン	3. サポートプラン	410,000	1	b		2
DC06	実装確認依頼プラン	3. サポートプラン	1,120,000	1	b		2
DC07	SoCプラットフォーム参照プラン	3. サポートプラン	1,410,000	1	b		2
DC08	ライト設計サポートプラン	3. サポートプラン	500,000	1	b		3
DC09	設計サポートプラン	3. サポートプラン	4,000,000	1	b		3
DC51	おすすめプラン用ストレージ利用継続	「1.おすすめプラン DC01～DC03」用	5,000	1	b	単位：100GB ※ 最小500GBとする(利用データ量ではなく割り当てたストレージ量)[※5]	1
DC52	ベアメタルサーバプラン用ストレージ利用継続	「2.ベアメタルサーバプラン DC04」用	10,000	1	b	単位：100GB ※ 最小500GBとする(利用データ量ではなく割り当てたストレージ量)[※5]	1
DC60	追加設計ツールオプション	各プラン	問い合わせ	3	c		2, 4
DC70	SoCプラットフォーム開発プラン[※4]	3. サポートプラン	問い合わせ	[※6]	d	共同研究契約	---
DC80	ブース利用プラン	4. ブース利用プラン	100,000	3	b	ログインサーバ、ネットワーク環境あり、個室(2人で作業可能)	1
DC90	手続き料[※7]	---	40,000	---	---	[申し込み時期]を過ぎた場合に頂きます	4

- 申込みは AIDC の web サイトからお願いいたします。 <https://ai-chip-design-center.org/>
- プランやオプションの契約期間途中での変更は原則認めません。
- この単価表に記載した金額に消費税は含まれていません。
- 消費税等により生じた小数点以下の端数については切捨てで処理いたします。
- このほかに運営管理費として合計額の 15%を頂きます。

※1: 申込み期限 (利用期間は1日始まりの1ヶ月単位が基本です)

- a: 必要に応じて随時申し込んでください。
- b: 1ヶ月前の10日までに申し込んでください。
- c: 2ヶ月前の10日までに申し込んでください。
- d: 12ヶ月以上前までに相談してください。

※2: 1サーバに複数プラン(複数のスタンダードプラン、複数のPDK/IP使用プラン、複数のエミュレータプラン)を集約する場合は3か月以上の申請としてください。

※3: 約款第6条との関係

- 1: 共用施設等使用料
- 2: 運転費 + 技術代行費
- 3: 技術指導費
- 4: 追加料金

※4: 産総研との共同研究契約を結んで進めます。

※5: プランを選択しない場合にご利用ください。プランがなくてもストレージだけを単独でご利用いただけます。産総研は、ストレージに保管されたデータが保持されることを保証せず、一切の法的責任を負わず、損害賠償及び補償を行いません。

※6: 本プランは終了までに2年程度かかると想定されます。

※7: 手続き料

申込み期限までに申し込んでいただければ手続き料は頂きません。

申込み期限を過ぎて申込む場合、可能な限り迅速に処理しますが、利用開始が遅れる可能性があります。その場合でも手続き料の返金はできません。

1. AIDC 利用プランの説明

本拠点を利用するためのプランは「1.おすすめプラン」、「2.ベアメタルサーバプラン」、「3.サポートプラン」を用意しています。

各プランは独立に利用することもできますし、組み合わせて利用することもできます。

各プランに追加オプションを組み合わせることで目的に合った設計環境を構築することが可能です。プランや追加オプションは1ヶ月単位で設定できます(注意：一部のプラン・オプションには3ヶ月単位などがあります)。各プランとオプションの説明は、この資料の後半にあります(6.プランとオプションについて)。

「1.おすすめプラン」：代表的な利用方法を3つのプランとして設定しました。その他オプションも用意しています。

スタンダードプラン

PDK/IP 使用プラン

エミュレータプラン

「2.ベアメタルサーバプラン」：本格的にテープアウトまで作業するために、処理能力の高いハードウェア環境を提案しています。その他オプションも用意しています。

5.1GHzCPU 実行サーバプラン

768GB 実行サーバプラン

1500GB 実行サーバプラン

「3.サポートプラン」：本拠点の技術サポートや作業依頼が必要な際のプランを用意しています。

RTL ガイドライン参照プラン

実装確認依頼プラン

SoC プラットフォーム参照プラン

SoC プラットフォーム開発プラン

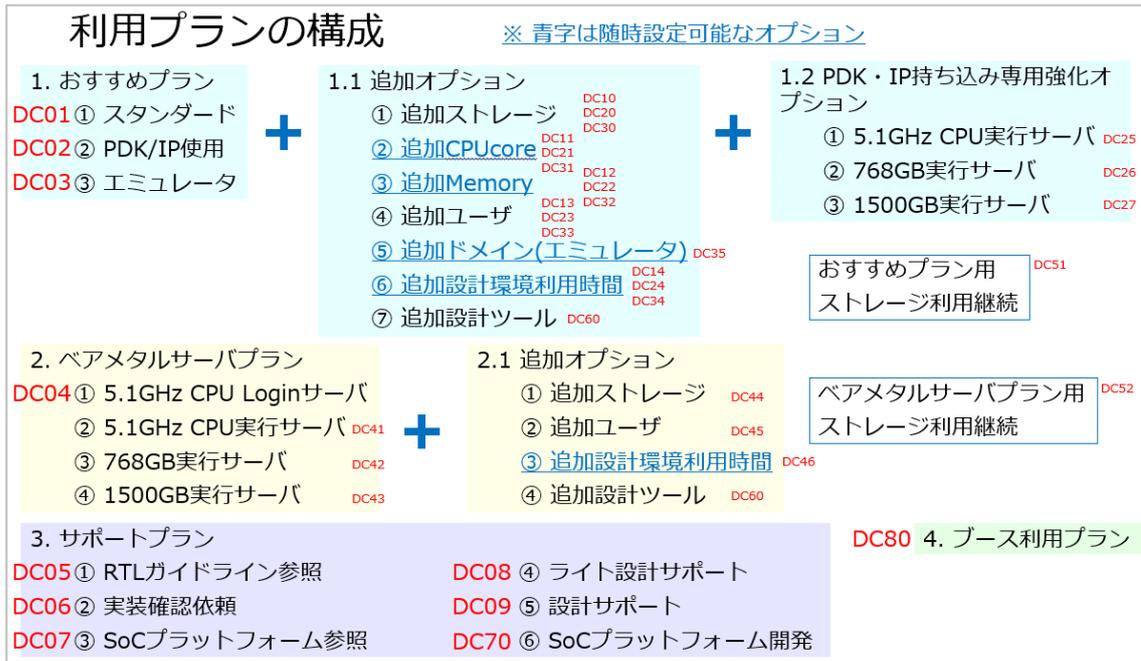
ライト設計サポートプラン

設計サポートプラン

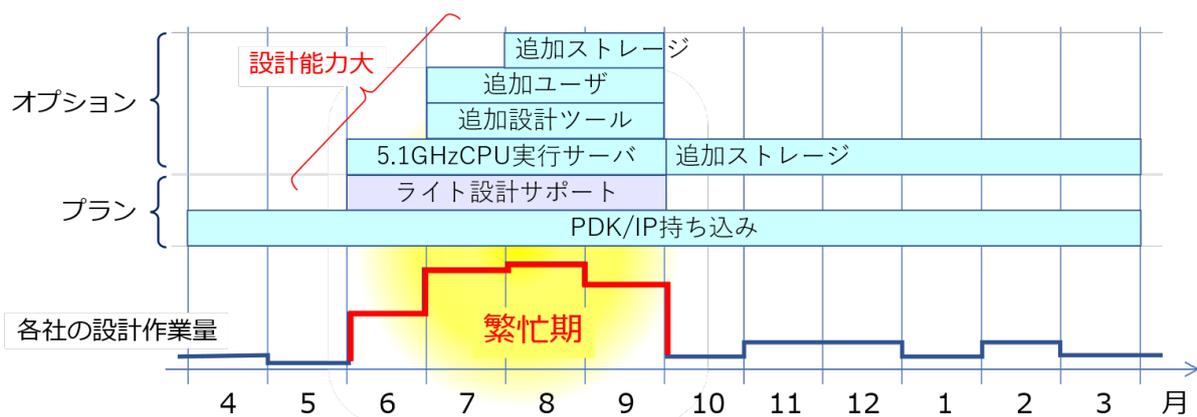
<利用可能な設計ツールについて>

本拠点の web ページ (<https://ai-chip-design-center.org/>) にログインして「設計ツール」を参照ください。4月以降に利用できるツールは、EDA グループ名に「Op1」などがありません。

ログイン ID をお持ちでない場合は、上記 web ページの「拠点利用方法」を参照して手続きをお願いいたします。



プランとオプションの全体構成



利用イメージ 1 : PDK/IP 使用プランをベースに設計環境を設定した場合

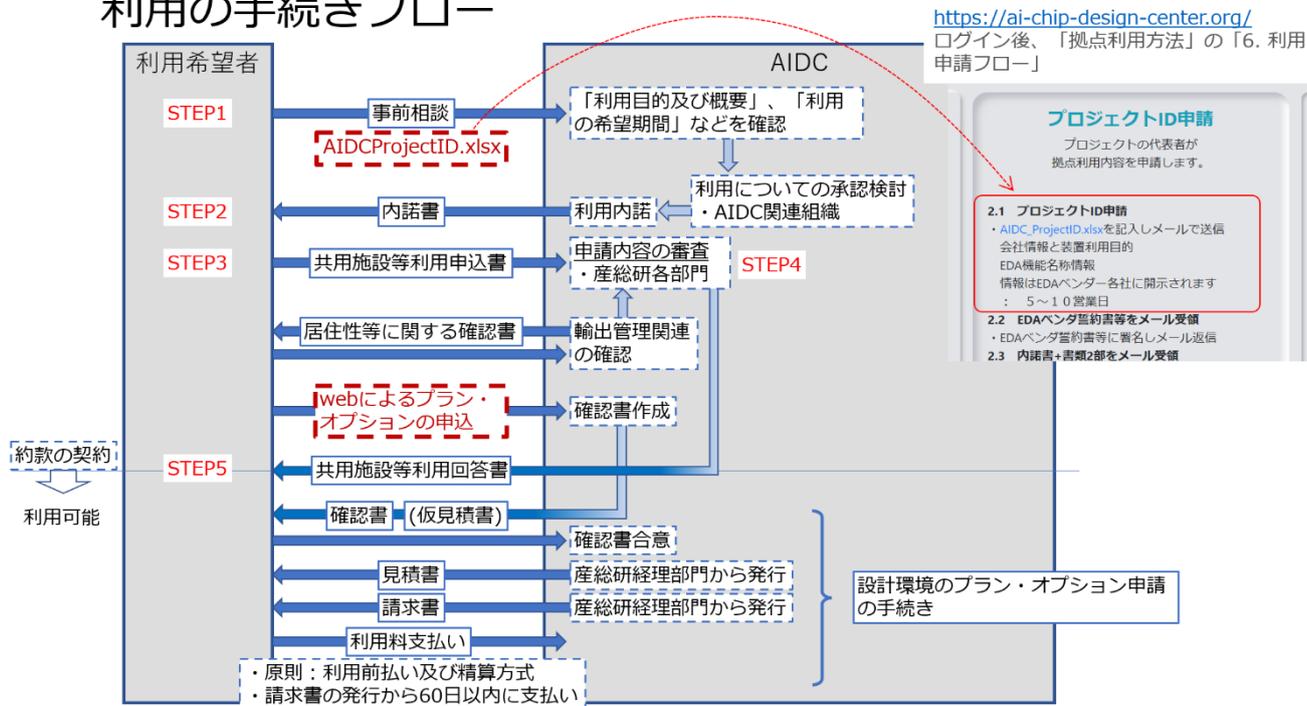
2. 手続きについて

■ 共用施設(AIDC)の利用手続き

- 産総研共用施設の利用手続きが必要です。まずは約款の契約をしていただきます(回答書により約款の契約をします)。そのあとで、設計環境の利用の手続き(プラン・オプション申請)をしていただきます。
- 下記 web ページを参照の上、約款の契約をお願いいたします。
https://www.aist.go.jp/aist_j/business/alliance/orp/ibec/ja/application.html
- 「共用施設ご利用までの流れ」に沿って STEP1~5 の手続きを進めてください。
- STEP3 の後で、web ページから「web によるプラン・オプションの申込」をしていただきます。

- STEP5 の回答書を受理していただければ、AIDC をご利用いただけます。
- 設計環境(プランとオプション)の見積書と請求書を発行いたしますので支払いをお願いいたします。お支払いが翌月になる場合でも、当該契約期間の設計環境をご利用開始いただけます。

利用の手続きフロー



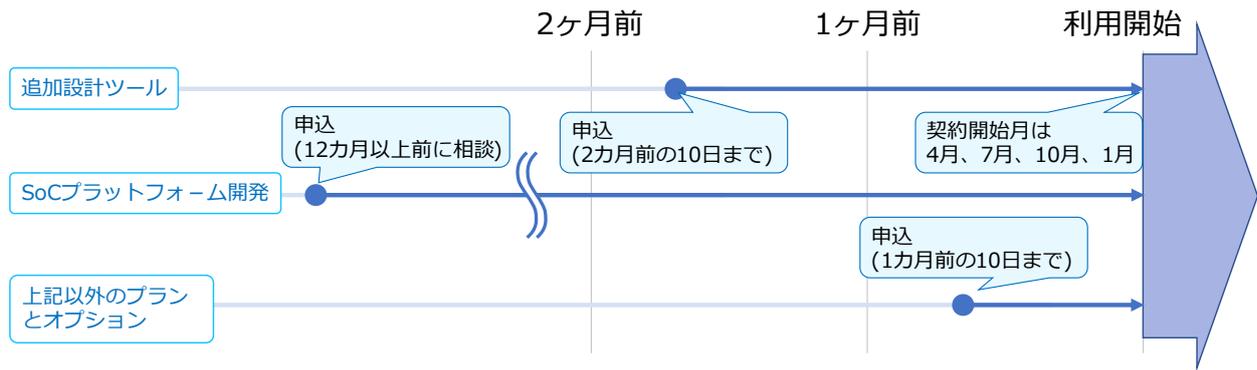
利用手続きフロー：約款の契約(回答書)と設計環境利用の申請の手続き

■ 申し込み手続き

- 追加設計ツールオプション：最低 2 ヶ月前の 10 日までに申し込んでください(ライセンスの追加取得の手続きのため)。契約開始月は、4月、7月、10月、1月です。ご注意ください。
 - SoC プラットフォーム開発プラン：まずは 12 ヶ月以上前に相談ください。
 - 上記以外のプラン・オプション：1 ヶ月前の 10 日までに申し込んでください。
- ※ 手続き料: 4 万円/件 (ただし上記の申し込み期限を守れば手続き料は無料です)
- ※ 申込期限を過ぎての申込は、利用開始が遅れる可能性があります。

■ プランの変更 (契約期間で途中からプランを変更する場合)

- [スタンダード] から「PDK・IP 使用」への変更と[エミュレータ] から「PDK・IP 使用」への変更は可能。その他の変更は不可。
- ※ 変更する月の 1 ヶ月前の 10 日前までならプランの差額を支払えば可能。
- ※ 変更する月の 1 ヶ月前の 10 日以降の場合、プランの差額と手続き料(4 万円)を支払えば可能。



申し込み手続きのイメージ

■ プラン・オプションの延長

- ・ 上記「申し込み手続き」と同じ手続きで延長いただけます。

3. 拠点利用条件

- (1) 拠点利用に先立ち、EDA ベンダーに承認を取る必要があります。申請書に必要事項を記入してください。
- (2) 約款による拠点利用料の適用期間は、サンプル 300 個までの開発フェーズとします。
- (3) サンプル 300 個を超えて量産フェーズに移行するときには、拠点およびベンダーに通知してください。
- (4) サンプル 300 個を超えた量産フェーズでの拠点利用については、拠点およびベンダーと別契約を結んでください。

4. 設計環境利用時間について

「6. プランとオプションについて」の説明の中に、「設計環境利用時間」の記載があります。いくつかのプランでは設計環境利用時間は 200 時間/月としています。ここでは、設計環境利用時間の考え方について述べます。

■ 200 時間/月の考え方

- ・ その月の 1 日から月の末日までの総設計環境利用時間で管理します。
- ・ 設計環境利用時間とは、拠点が提供する設計環境の利用時間を積算したものです。複数のツール、機能を同時に使用する場合にはその数に応じた合計使用時間を集計します。
- ・ 設計環境利用時間を増やす必要がある場合は、追加設計環境利用時間オプションをご利用ください。
- ・ プランの契約が複数月の場合、月ごとに 200 時間の設計環境利用が可能です。月の末日に 200 時間に達していない場合は、その月の残時間は破棄になります。追加設計環境利用時間オプションを利用する場合も同様に月ごとの管理になります。

【できること、条件】

- ・ 拠点で開発した RTL ガイドライン(AI-One, AI-Two)を用いた RTL 設計が可能。
- ・ RTL ガイドライン(AI-One, AI-Two)の PDK と IP は利用者が使用権を入手して利用すること。
- ・ 「PDK/IP 使用プラン」「ベアメタルサーバプラン」で実施可能。

■実装確認依頼プラン(DC06) 112 万円/月**【できること、条件】**

- ・ 拠点で開発した RTL ガイドラインに従った設計データ(RTL)を利用者が持ち込み、拠点で開発したプラットフォーム(AI-One, AI-Two)を用いた実装設計試行を拠点に依頼する。
- ・ 本拠点から実装結果評価レポートが提出される。
- ・ 拠点が設計した実装設計の検証は利用者が行うこと。
- ・ コースの期間内なら何度でも RTL 提出可能。
- ・ 「PDK/IP 使用プラン」「ベアメタルサーバプラン」で実施可能。

■SoC プラットフォーム参照プラン(DC07) 141 万円/月**【できること、条件】**

- ・ 拠点で開発したプラットフォーム(AI-One, AI-Two)の標準システム回路、検証回路、テスト回路(DFT)等が参照可能。
- ・ プラットフォーム(AI-One, AI-Two)の PDK と IP は利用者が使用権を入手すること。
- ・ 「PDK/IP 使用コース」「ベアメタルサーバプラン」で実施可能。

■ライト設計サポートプラン(DC08) 50 万円/月**【できること、条件】**

- ・ 4 時間/月の Teams 会議による問い合わせ可能。
- ・ Teams 会議は 30 分単位

■設計サポートプラン(DC09) 400 万円/月**【できること、条件】**

- ・ 開発案件のサポート可能。
- ・ 100 時間/月の Teams 会議による問い合わせ可能。
- ・ Teams 会議は 30 分単位

■SoC プラットフォーム開発プラン(DC70) (費用は問い合わせ)**【できること、条件】**

- ・ 拠点で新たに開発するプラットフォームを用いて実装設計を拠点に依頼する。
- ・ 設計に使用する EDA 時限ライセンス(追加設計ツール)、PDK、IP、チップ試作費、ボード費用は拠点に別途支払い、拠点とベンダーが結んだ契約に従うこと。
- ・ プラットフォームに利用する PDK と IP を IP ベンダーと別途契約を結んで使用する場合には、拠

